

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス くるむ			
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの「やりたい」気持ちを実現化してあげることができるところ。	子どもたちからの発信を見逃さず、「意欲」があるときに実現することで学びが深まると考え実践している。	子どもたちの「興味・関心」を引き出せるような支援の充実。
2	怪我をするギリギリラインまで見守ってあげられること。	経験から学ぶことを大切に考えている。 また、大人の常識で子どもの行動を止めるのではなく、助けがあるのかいないのかを見極めて支援するようにしている。	声かけの質や量の精査。
3	所属園と連携をとりながら利用方法を柔軟に考えられること。	子どもそれぞれのその時々々の状態、状況を見ながら子どもにとって「今必要なこと」を視野に入れて実践している。	更なる保護者や所属園との連携。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団の数が大きく作れないこと。	多機能型で運営しているが、放課後等デイサービスの利用者が圧倒的に多く、なかなか思ったような集団が作れずにいるところ。	2店舗目を視野に入れて児童発達支援の1日の利用枠を増やしたい。
2	支援員のスキル向上。	理念とされている支援についての研修の時間をもう少し確保したいところだ。	時間を作って「きんぎょモデル」の理解を深めるための研修を行いたい。
3	保護者に向けた研修や相談会、懇談会などの企画運営があまりできていない。	目の前の子どもたちとの活動に追われ余裕をもって保護者との時間をもつことができていない。	ペアレントトレーニングは今年度より開始できたものの、懇親会を実施するに至っていないのでニーズを聞き取ったうえで年間計画に組み込んでいきたい。